



キャンパスとランドスケープが一体となることで創出される景観

施設の概要

静岡駅から約 6km 北東にある JR 草薙駅近くの敷地に、大学と短大部のキャンパスを新たに建設する計画。静岡県内に点在していたキャンパスを再編し、大学 5 学部・大学院 3 研究科・短大部 2 学科で構成される学生数約 4,000 人規模の草薙キャンパスは、瀬名・水落・浜松キャンパスと一体で運用される。



キャンパスと周辺環境との調和

景観形成のポイント

計画敷地は、駅にほど近い環境でありながらも、周辺の山々との距離は非常に近く、富士山への眺望も得ることができる。この敷地特性を本計画における最大の価値としてとらえ、生かすことで唯一無二のキャンパスをつくることを目指した。



大学の顔となるゲート

景観形成の活動

設計初期段階から、静岡の豊かな自然環境を生かしたキャンパス計画を心がけ、配置計画や建物構成等を検討した。自然環境に対して閉じた建築ではなく、自然との接点を持つ仕掛けをできる限り多く作ることで、静岡市の中心部でありながらも豊かな自然持つこの場所ならではの景観の創出に取り組んだ。



富士山への眺望を生かしたテラス